

【亀岡市】SCで地域づくり総務大臣賞

亀岡市は、このたび、セーフコミュニティ活動をはじめ地域の協働に基づく取り組みが評価され、平成 25 年度地域づくり総務大臣表彰を受賞されました。

この賞は、昭和 58 年度から全国各地で地域をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することによって、地域づくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的として実施されています。

都道府県から推薦のあった団体、地方自治体及び個人の中から、「地域づくり懇談会」の意見を踏まえ、総務大臣が受賞者を決定します。亀岡市は、市民の協働で取り組む「セーフコミュニティ」と「亀岡カーボンマイナスプロジェクト」の 2 つが高く評価され、今回の受賞となりました。

表彰式は 2 月 1 日（土）、長野市で開催される予定です。

詳しくは、ウェブサイトにも掲載されています。



http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/hyousyou.html

【松原市】対策委員会・副会長会議を開催

1 月 15 日午後、松原市では、対策委員会会長・副会長および事務局が集まり、認証された後の取り組み展開について情報共有と議論を行いました。

まず、JISC から、認証後の活動を展開する上でのポイントをいくつか提示しました。認証後は、認証が最終ゴールではないとはいいいながらも、当座の目標に到達したことから活動が実際にペースダウンする場合やそう見られてしまう場合があることをお伝えしました。特に、認証されると、次のステップとして「取組の成果」の提示を求められることが多い反面、成果は数年では具体的にないというジレンマがあり、情報発信が少なくなりがちですが、まずは「何をやっているか」をより多くの市民の方に知っていただくこと、「市民のみなさんが日常的にかかわっている取組や活動にもセーフコミュニティにつながるものがあること」を知っていただくための周知が大切であることをお伝えしました。

続いて、各策委員会が今後の抱負や取組みの予定等について報告されました。特に、多くの対策委員会では、

今後の周知の重要性を実感されていて、既存のメディア等を活用しつつお金をかけずに周知できる方法として「(所属する組織や団体の)機関紙ならロゴマークやキャッチフレーズなどの掲載料は無料だから、依頼しよう」など様々なアイデアがだされました。

また、今後、各委員会がどのような取組みを展開していくか情報を共有することで様々な連携の機会もでてくることから、「これからは、定期的に対策委員会長・副会長が集まる機会を設定し、情報交換・情報共有したい」という要望がだされ、満場一致で実現に向けて調整が行われることとなりました。

【松原市】認証後こそ周知活動！

松原市は、認証後こそ周知を進めることが大切であるという判断から、様々な方法で SC に関する啓発を行っています。1 月 15 日に、市庁舎内・周辺および駅前等における啓発活動の状況を見させていただきました。

松原市では、市役所の入口に、いつも市長からのメッセージが掲示されていますが、そのなかで「セーフコミュニティ」が取り上げられていました。また、正面玄関入ってすぐの壁面には、セーフコミュニティ旗、タテが説明とともに掲示されています。また、エレベータ内やフロアガイドなどのスペースを活用して、SC のポスターや横断幕が掲示されています。



庁舎入口には旗とタテを掲示



フロア案内の上にも！

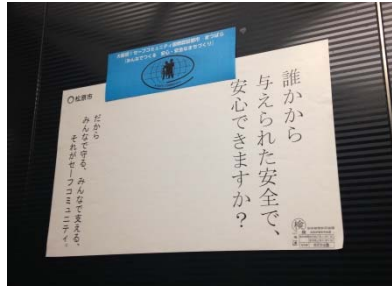
エレベータの中にもロゴとポスターが掲示されています（右）



ロビーには、防災関係のパネルとともにのぼり端



窓口のうえに横断幕を

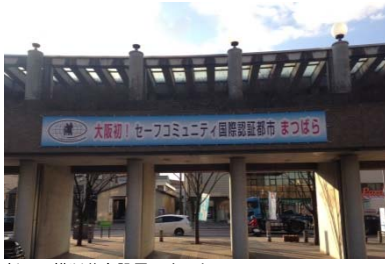




庁舎の周辺にのぼり端



公用車にも SC ロゴ



新しい横断幕も設置しました。



庁舎前の歩道橋にも横断幕

また、庁舎周辺の壁面や歩道橋にも SC の横断幕やのぼり旗が新たに設置されています。加えて、多くの市民が利用する近鉄駅前ロータリーでも、上記のような啓発が行われています。



駅前のマッキービジョンで PR



駅前のロータリーに沿って横断幕

これらの視覚的な啓発に加えて、市長は以前から機会あるごとに SC の協働と検証の有用性と大切さを強調されておられるとのことで、大阪府内松原市周辺でも SC にご関心をもたれる方・自治体が増えてきています。

【甲賀市】第3回対策委員会・対策委員会 正副委員長会議を実施

1月16日午後、甲賀市において、第3回 SC 推進協議会が開催されました。まず、事務局



からこれまでの取組経過について説明があった後、各対策委員会の委員長が対策委員会における議論・活動の状況について報告しました。委員は、一般住民の方で、また着任間もないにもかかわらず、しっかりと対策委員会が設置される背景とこれまで5回の会議の経緯を説明されました。(下記参照)

- ステップ1: SC について理解する[JISC による講話]
- ステップ2: 主観的な課題を議論する[集合ワークショップ]
- ステップ3: 客観的な課題を議論する[集合ワークショップ]
- ステップ4: 重点課題を設定する[個別ワークショップ]

今後、対策委員会ごとに設定した重点課題にもとづいて、「方向性」、「対象」などの議論をへて具体的な取組みを決めていくこととなります。

対策委員会の報告の後には、外傷サーベイランス委員会会長から、前回のサーベイランス委員会での議論内容(対策委員会の取組報告を受けて、データ等客観的情報の収集方法や取組に関する意見やアドバイス)の報告がありました。各種報告を受け、委員からは、対策委員会での進捗状況をウェブサイトで公開するとともに、パブリックコメントを求めているかどうか、といった意見が出されました。

また、推進協議会の後には、各対策委員会の委員長・副委員長が集まって、現時点での取組みに対する不安や疑問等をざっくばらんに共有する機会をもちました。

【豊島区】年間活動報告・区民ひろば訪問

1月17日、豊島区において、先に提出された年間活動報告書をもとに、この1年間の取組みについてお話を伺いました。

豊島区は JISC に提出する年間レポートに加えて独自の年間報告書を作成しています。JISC が提出をお願いしている、年間レポートに加えて、各対策委員会においてより具体的な活動のとりまとめと振り返りを行っており、より具体的に「振り返り」を行い、次年度へつなげようとしています。年間活動報告書の作成は時間と労力を要しますが、事務局を担っている行政の負担も少なくないと思いますが、単に「提出が求められている書類」として作成するのではなく、対策委員会や推進協議会とともに作成いただき、その過程を通して1年間のアセスメントの機会としていただきたいと思います。

事務局とのお打合せの後には、豊島区の SC 活動の拠点となっている「区民ひろば」のうちのひとつ「区民ひろば池袋本町(通称:いけほんひろば)」にお伺いしました。この施設は、かつて高齢者と児童に用途が分かれていた施設を区民のみなさんが世代を超えて集い活動するための施設として小学校単位で設置されています。お伺いした区民ひろばは、なかでも活発な活動を展開しておられ、その運営は NPO 法人によって行われています。理事長の田中氏から、各種活動をご紹介いただくとともに、今後 SC 認証都市の市民としてどのように取組を展開するべきか、というご質問をいただくなど、積極的な姿勢に今後の活動が期待されます。

入口すぐに、区民ひろばの SC 情報コーナーが設置されています



【朋有小学校】研究報告会で取組を報告

1月17日、朋有小学校では教育推進校として取組んでこられた安全教育の成果を全校あげてご報告されました。まずは、各学年での授業を参観し、そのあとは体育館において児童による報告会、そして文科省の講演、パネルディスカッションと続きました。体育館では、JISCは、都教育委員会、区教育委員会の方たちの間に席を用意いただきましたので、来賓の方たちをお話する機会がありました。みなさま、報告のたびに「素晴らしい！」とつぶやいておられ、ISSを知っていただきうれしくおもいました。



文科省の来賓の方からは、「これだけのことを日常の教育課程のなかで展開できるとはすごいですね！」とおっしゃってくださいました。

地域のかたたちもたくさんお手伝いに来られていて、報告だけでなく、随所にセーフスクールの成果をみせていただきました。来賓にお茶をいれてくださっていた保護者の方が、「本当にこの学校で子供がお世話になってよかったと思います。」とおっしゃっていたのが印象的でした。また、子どもたちや先生方の取組みの数々をご紹介くださる校長先生の表情がとても素敵でした。

校長先生はじめ、先生方は、当日だけでなく準備も大変だったこととご推測します。本当にお疲れさまでした！そして、関係者のご対応でお忙しいなか、招待くださり、このような機会をいただきありがとうございました。（^^）



【JISC】韓国昌原市認証式・シンポジウム

1月23日、韓国の昌原(チャンウォン)市において、SC認証記念シンポジウムと認証式典が開催されました。

午前開催されたシンポジウムでは、台湾のパイ・ル先生、JISC 白石、インジェ大学のペ・ジョンイ先生が講義を行いました。その後、チョ先生の司会によって、SC対策委員会の代表とともにパネルディスカッションが行われました。対策委員会の代表が、それぞれのお立場から講義へのコメントや質問などをされ、それに対して講師が応えましたが、活発な意見や質問のやりとり



時間が予定を超え、司会のチョ先生がやきもきする場面もみられました。

昼食をはさんで、午後からは認証式典が開催されました。まず、子どもたちや地域の方たちによるパフォーマンスが披露され、会場の雰囲気を盛り上げました。続いて、盛大な演出のなか合意書への署名とタテと旗の授与が行われました。



その後は、プロの歌手とサウンドアート(音楽にあわせて砂で絵を描く)のコラボレーションによるパフォーマンスや市民コーラスによる市歌斉唱がありました。

会場の周辺には多くのブースが設置され、安全に関する活動をPRをするともに、子どもによる絵の展示などが並び、華やかな雰囲気に多くの方が足を運んでいました。



市の担当者によると、今年の6月に現市長が道知事の選挙に出馬を決めたため、昨年11月に現地審査を終えたばかりにもかかわらず、急きよ認証式を行うことになったそうで、2012年に日本で開催されたアジアSC会議で来日した際に出席したSC認証式が参考になったとのことでした。



韓国の式典の特徴は、演出が非常に華やかで、式典の前にはプロの歌手などによるパフォーマンスが盛大に繰り広げられる点です。舞台

演出などに費用がかなり掛かっているようで、巨大パネルを設置したり、スモークが舞台を覆ったり、花吹雪が盛大にまったりします。このような韓国ならではのお国柄に触れる一方で、対策委員会メンバー代表が壇上に上がり、市長が個々にこれまでのご尽力をねぎらわれる場を設けられたのは、日本でも参考にできる点だと思います。

【発行】一般社団法人 日本セーフコミュニティ推進機構
※問い合わせは下記ヘッダーの連絡先まで